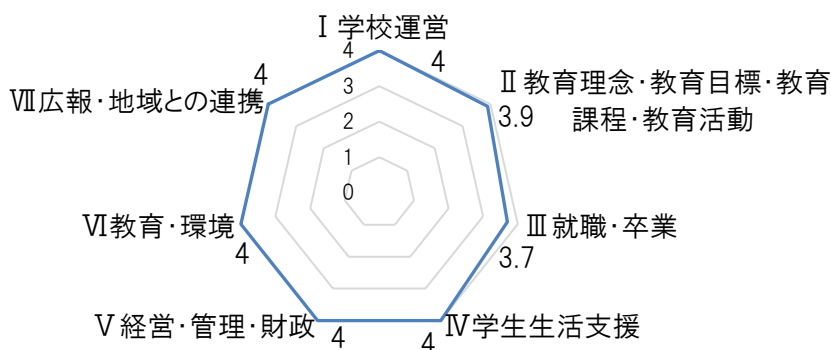


岡山済生会看護専門学校 学校関係者評価（令和 6 年度）

令和 7 年 3 月 27 日

学校関係者評価 委員長 奥井 恵美子（大阪済生会看護専門学校 前副校長）
委員 槌田 洋子（岡山済生会看護専門学校 同窓会会長）
三上 由美（岡山済生会総合病院 看護部長）
井上 実玖（岡山済生会看護専門学校 令和 3 年度卒業生）

学校関係者評価 7 領域 31 項目の結果 評価基準 満たしている 4 1 改善すべきである



カテゴリー	評価点	概要
I 学校運営	4	学校運営は、設置主体の済生会の目標を踏まえ、組織目標、教職員の個人の目標まで連動され、各個人の目標が、組織の発展につながるよう管理されている。さらに、年 2 回の目標管理評価を実施し組織の発展に結び付いている。
II 教育理念・目標・教育課程・教育活動	3.9	年 1 回の学生に対して満足度調査を実施しており、その回答を踏まえ課題を明確にして対策を実施している。教育活動全般の質の向上に通じるものであり、学生の声を重要にしていることが、選ばれる学校づくりにつながっている。
III 卒業・就職	3.7	多職種との共同授業は、より専門的な知識の習得やチーム医療の重要性を体得できる効果的な取り組みであるため今後も継続して教育の効果を高めることを期待する。
IV 学生生活支援	4	質の高い実習環境体制を築くために、実習施設の実習指導者と教員の連携は、重要であるため臨床指導者会の出席率の向上に努めていくことを期待する。
V 経営・管理・財政	4	個人の尊厳、倫理的な行動は、看護の根幹であるため、臨床と協力しながら今後も丁寧に教育していく。
VI 教育環境	4	学生に対して学習や精神的な支援は、教員が協力しながら、個々の学生の課題にきめ細かく対応している。
VII 広報・地域との連携	4	広報活動や地域への貢献は、創意工夫しながら積極的に取り組んでいる。常に学生の教育環境を高めるために様々な取り組みを展開し、確実に評価を行い教育環境をより良い方向となるよう努力し成果を上げている。